

DynaCAD Ver.20 機能アップポイント

2018年12月
発売予定

DynaCADシリーズ共通

DWG/DXF入力 2018形式対応

AutoCAD 2018で作成したDWG、DXFファイルの読み込みに対応します。
※出力は2013形式ですが、AutoCAD 2018で読み込み可能です。

ラスター拾い出し機能

図面上に配置した部品、連続線、多角形から、個数、延長、面積の数量を拾い出し、数量表の作図、CSVファイルへの出力を行います。

①図面にイメージを貼り付けします。 ②シンボルはスタンプ感覚で記号を配置。長さの拾い出しは連続線を描くようになぞり書きします。 ③拾い出しの結果は数量表を作図。CSV出力して Excel などの表計算ソフトにも読み込み可能です。

電子納品オプション 基準・ガイドライン対応

国土交通省港湾局 地方整備局（港湾空港関係）の事業における電子納品運用ガイドライン（案）【資料編】平成30年4月に対応します。

その他の機能

- 塗りつぶしハッチ、イメージを強制的に背面に移動し、表示順を変更するコマンドを追加します。
イメージデータ、塗りつぶしハッチ(以下、塗りハッチ)の属するシートをメインシートに変更し、レイヤの順番、または図形の表示順を変更する事で、イメージデータ、塗りハッチをその他の図形よりも奥に表示します。
※同じレイヤにイメージと塗りハッチがある場合などは、希望通りの表示順にならない場合があります。パターンハッチ、塗り属性付き図形は対象外です。
- 文字列入力 文字枠内の塗りハッチを、任意の色に指定できるようにします。
- 長さ指定拡大縮小 基準線の変更後の距離をマウスでも指示できるようにします。
- 図形属性フィルタ パターンハッチと塗りハッチを別に検索できるようにします。
- 勾配測定 表記を1:n、%、‰から選択できるようにします。

DynaCAD土木Plus、DynaCAD官公庁版Plus

土木コマンドの新機能

- 従来の土木コマンドとPlusコマンドを統合し、コマンドのメニュー構成を一新します。
- 従来のIP法に加えて、要素法による線形計算機能を追加します。
- 計画横断面図データの作成、作図が行える機能を追加します。

LandXML出力対応

線形計算、縦断面図、横断面図コマンドで生成されたデータを基にして、国土交通省 国土技術政策総合研究所（国総研）「LandXML1.2に準じた3次元設計データ交換標準（案）Ver.1.2」に準拠したLandXMLを出力します。

PDF関連オプション

シリーズ共通 別売

イメージで図面に貼り付けたい

PDF入出力 Ver.2.0

- 入力** PDFはラスターデータとして図面に貼り付け。
- 出力** ベクターPDFとしてPDF出力。
※レイヤ情報はありません。

CADデータ化したい

PDFベクター変換 Ver.1.0

- 入力** ベクターPDFはベクターデータとして変換。
- 出力** ラスターPDFはラスターデータとして図面に貼り付け。

レイヤ情報付PDFに出力したい

PDFベクター出力 Ver.1.0

- 出力** ベクターPDFとしてPDF出力。
レイヤ情報付き。

※ベクターPDFとは、各種ソフトウェアからPDF出力した図形・文字などのベクター要素を保持したPDFです。 ※ラスターPDFとは、スキャナなどで読み込み、作成したPDFです。

DynaCADシリーズ 月額プラン

シリーズ共通

DynaCADシリーズを、お客様の必要な期間だけ月額でご利用いただけるサービスです。

- ご利用期間は3ヶ月以上1ヶ月単位で設定可能
- プログラムはダウンロードで提供
ダウンロードやご利用に関するご案内は、お手続き完了後にメールでお送りします。
- インターネット回線でライセンス認証
インターネットでサーバーに接続し、ご契約期間内のみライセンスを取得して起動します。
(起動中はインターネット環境が必要です)

・ご契約期間中は保守サービスユーザー様と同様に、遠隔サポートを含むフリーダイヤルでのサポートを利用できます。
・ご契約期間中は、最新版のプログラムをいつでもダウンロードしてご利用いただけます。

TS出来形管理オプション

土木Plus 官公庁Plus 別売

TS出来形管理は、国土交通省の共通仕様書をマスターとした各種帳票を作成するDynaCADシリーズのオプションソフトです。施工管理データ交換標準 Ver.4.1に対応しています。